



素早く避難する園児たち(子育て保育園)

火災に備え避難訓練を実施

村内各小中学校・保育園では10月から12月にかけて、火災を想定した避難訓練を実施しました。

これは、暖房器具の使用や空気の乾燥



ポンプ車の説明を聞く児童(南小学校)

により火災が発生しやすくなるこの時期に、子どもたちが、いざというとき慌てずに避難できるような訓練するとともに、防火意識を高めるのがねらい。

南小学校では11月6日に実施。休憩室から出火したことを想定した訓練では、児童たちが落ち着いて玄関から避難し、消火器を使った訓練も行われました。

また、子育て保育園では10月17日に実施。訓練用の煙の立ちこめるなか、園児たちは指示に従い素早く避難。訓練後に行われた消防車の見学では、間近に見る消防車に歓声をあげていました。

農業委員会が盗難防止パトロール

村農業委員会(橋本良雄会長)は11月から、農機具や農産物の盗難防止パトロールを実施しています。

これは、収穫時期を迎えたこの時期に、村内において農業用トラックやトラクターなどの盗難が発生する恐れがあることから、農業委員と村職員が分担し、農家の皆さんが安心して農作業に取り組めるようにと夜間の見回りを実施するものです。

パトロールの初日となった11月3日には、沼田警察署の協力のもとパトロール隊の出発式が行われました。橋本会長は、



あいさつする橋本会長

「農機具はもろろんのこと、私たちが丹精込めて作った農産物についても、期間中に限らず盗難防止に注意していきたい」とあいさつし、一丸となって取り組むことを確認しました。



パトロールへ出発する農業委員

横浜市会の視察団が来村

視察団が来村

村と友好交流協定を結ぶ横浜市より、横浜市会こども青少年・教育委員会の皆さんが11月8日、村に視察に訪れました。

視察にあたり、まず役場で村の概要について説明。続いて、横浜市の施設であり、同市教育委員会が管理する横浜市少年自然の家赤城林間学園を視察しました。横浜市会の皆さんは、施設の概要や館内の様子を熱心に確認しました。



来村した横浜市会の皆さん



コンニャク芋の掘り取りをする参加者

横浜公園でコンニャク芋掘りイベント

村では11月18日、横浜スタジアムに隣接する横浜公園でコンニャク芋掘りのイベントを行いました。

これは、平成25年10月に友好交流協定を締結した横浜市との交流事業の一環として行われたもので、今年で4回目となります。

当日は、公募により集まった横浜市民の親子およそ40人がイベントに参加。今回掘り取りが行われたコンニャク芋は、横浜市緑の協会や、横浜市職員の方々にも協力いただき、横浜公園内およそ50㎡の畑で6月に植え付けをしたものです。

掘り取り作業の後には、昭和村さくら

工房の皆さんによるコンニャク作りの実演が行われました。



コンニャク作りの実演

中学生議会で村への政策を提言

中学生議会在が11月28日、村役場議場で行われました。

この議会は、実際に議会を体験することにより、中学生に地方自治の仕組みや村の役割について知ってもらおうと村議会が発案したものです。

今年で13年目を迎える模擬議会には、昭和中学校の3年生78人が参加。2組に分かれて村の政策に対する質問や自分たちで考えた政策の提言を行いました。

高齢者などの移動手段やゴミのリサイクルに対する政策など、村の様々な課題についてグループ代表者が村執行部に質



壇上で堂々と質問

問。また、「大人を対象にした音楽教室などを作ってはどうか」や「昭和中にもスクールバスを導入してはどうか」といった政策の提言も行いました。



実際の議会さながらに行われた中学生議会

船鼻岳遊会の星野さんが群馬会館で発表

昭和村船鼻岳遊会副会長の星野博信さん（追分）は11月22日、前橋市の群馬会館で行われた平成29年度赤城山交流事業において、赤城山船ヶ鼻登山道を紹介する事例発表を行いました。

星野さんは、「昭和村に登山道がないことに疑問を感じ、熱い思いで村に整備を提案した」「多くの人たちが花や景色、昼食を楽しみ、友達を連れてもう一度登りたい山を目指します」と登山道開通の経緯や今後の目標を語りました。



事例発表を行う星野さん